

「ごみ減らし隊」通信

りゅうがさき

平成20年5月

龍ヶ崎市のごみ事情 2008

Q 龍ヶ崎市のごみって増えているの？

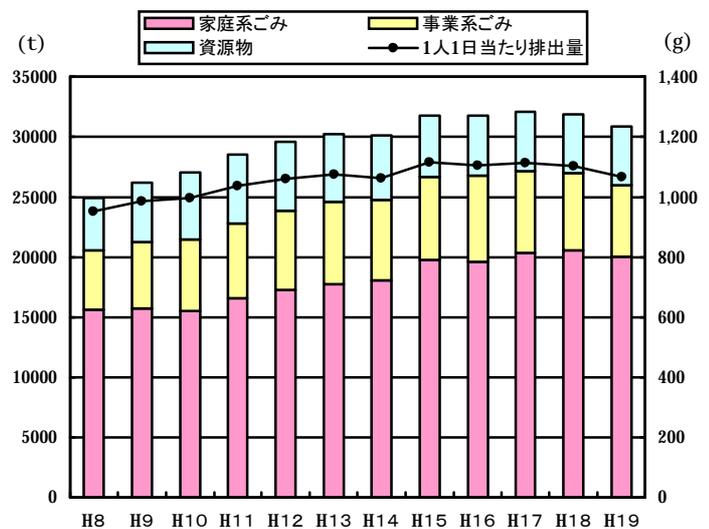
ごみ総排出量は、過去10年間を通してみると増加しており、平成8年度の約2万5千トンから、平成19年度には約3万トンに増加しています。

近年のごみ排出量は横ばい傾向で、平成17年度をピークに平成18・19年度は2年連続で減少しています。

1人1日当たりの排出量（原単位）についてもおおむね同様の傾向にあり、平成19年度は前年度と比較して約40g減少しています。

地球温暖化等の環境問題への対応や、最終処分場の延命化に対応するため、より一層のごみ減量を推進していく必要があります。

ごみ総排出量の推移



Q どうして、ごみを減量する必要があるの？

環境への負担を減らすためです

大量生産、大量消費、大量廃棄の現代の生活スタイルは、ごみを増やし、多くの資源やエネルギーを無駄にしています。ごみを適正に処理していても、その過程では少なからず地球環境に負担をかけています。限りある資源を守り、豊かな地球環境を次の世代へ引き継ぐために、今一度、生活スタイルを見直すことが必要です。



ごみ処理費用を減らすためです

平成18年度のごみ処理費用は、約16億円

- ・1リットル当たり **7.81円**
- ・燃やすごみ袋大1袋当たり（約40リットル） **約312円**
- ・市民1人当たり **約20,000円（5人家族で年間10万円も！）**



ごみ処理施設の建設費

平成11年に竣工した清掃工場「くりーん・プラザ・龍」の建設費用は、約183億円



最終処分場の寿命を延ばすためです

清掃工場「くりーんプラザ・龍」にある最終処分場は、現時点で、全体の7割を越す残余容量があります。埋め立てまではまだ年数があると想定されますが、現在の最終処分場をできるだけ長く使っていくことが大切です。

※一般廃棄物最終処分場（H17年度末現在）の残余年数は、全国平均で14.8年



最終処分場

※「ごみ減らし隊」通信は、龍ヶ崎市廃棄物減量等推進員（ごみ減らし隊）の地域でのごみ減量・リサイクル活動や市の施策を紹介するものです。

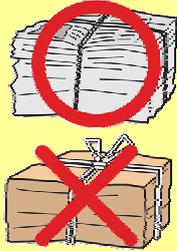


どんな紙が資源物として出せるの・・・？

○【資源物として出せる紙類】

【新聞紙】

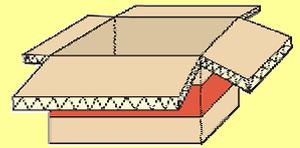
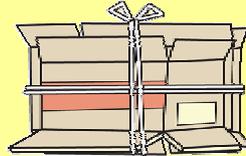
○新聞紙（新聞折り込みチラシも含む）



※紙袋などには入れず、ひもで束ねて出してください。

【ダンボール】

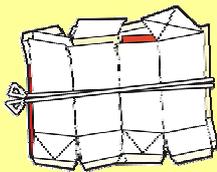
○みかんや家電製品のダンボール



※開いて、ひもで束ねてから出してください。

【紙パック】

○牛乳やジュースの紙パック



※すすいで、切り開き、乾かしてからひもで束ねて出してください。

【雑がみ】

○雑誌、お菓子・レトルト食品・ティッシュの箱、紙封筒、ボール紙、メモ用紙、紙製の手提げ袋、トイレットペーパーの芯などの紙



ティッシュは燃やすごみ

【雑がみの出し方のポイント】



新聞回収用の袋を使用すると便利です。



※細かい雑がみは、風で飛散したりするので、紙袋に入れ一杯になったら口元をひもで縛って出してください。

ほとんどの紙が資源物として出せるんだね！



×【資源物として出せない紙類】

※紙コップなどのワックス加工紙、ティッシュペーパー、紙おむつ、銀紙、金紙、ビニールコート紙、写真、感熱紙、油紙、カーボン紙、シールなどの台紙、汚れやニオイが付いて紙など



※箱は資源物として出せます。



※お酒のパックなどのように中がアルミ貼りのものは資源物として出せません。「燃やすごみ」で出してください。



資源物の 出し方3原則	①決められた時間に	②決められた場所へ	③分別して出す。
	(回収日の朝8時30分まで)	(各地域で決められた資源物回収ステーション、又はサンデーリサイクル)	

※回収日は『ごみ・資源物の出し方の手引き』をご覧ください。



ごみ・資源物の出し方Q & A

ごみに関する懇談会や電話などで寄せられた質問を掲載します。

Q. ごみ集積所・資源物回収ステーションの場所を教えてください。

A. 市環境対策課又は地区代表者に確認してください。

Q. 祝日はごみ・資源物の収集は行いますか？

A. ゴールデンウィーク及び年末年始以外の祝日は収集を行います。

Q. 使い捨てライターは、どのようなごみで出すの？

A. 使い切ってガスを抜き、『燃やさないごみ』として出してください。

Q. スプレー缶・カセットボンベは、どのように出すの？

A. 使い切って穴を開けてガスを抜き、『資源物』として出してください。

どうしても使い切ることができないときは、商品に表示されているメーカーにお問い合わせください。カセットボンベにメーカー名の表示がない場合は、社団法人日本ガス石油機器工業会（カセットボンベお客さまセンター）0120-14-9996までお問い合わせください。

Q. テレビ・エアコン・洗濯機・冷蔵（凍）庫はどのように処分すればいいの？

A. 不要になった家電製品は、家電販売店が引き取ります。（有料）

家電販売店に引き取りしてもらえない場合は市環境対策課にお問い合わせください。

ご不明な点がありましたら市環境対策課までお問い合わせください。

4つのRでごみを減らそう！

龍ヶ崎市では、ごみを減らし、資源や物を大切に使う社会（循環型社会）を作っていくため、4Rを推進しています。

循環型社会を作るためには、1. Refuse（リフューズ：ごみになるものは断る）、2. Reduce（リデュース：ごみの発生を抑制する）、3. Reuse（リユース：再使用する）、4. Recycle（リサイクル：再生利用する）の優先順位で、4Rに取り組むのが効果的です。

Refuse

リフューズ



●買い物のときは、買い物袋（マイバッグ）を持参し、レジ袋は断りましょう！

Reduce

リデュース



●洗剤などは中身だけを詰め替えてできる商品を買うようにしましょう！

Reuse

リユース



●修理して使えるものは、修理して再び使しましょう！

Recycle

リサイクル



●ごみを分別して、ペットボトルやカンなどの資源物は資源回収日に出しましょう！

みんなで4Rを実行し、循環型社会を作っていきましょう！！

龍ヶ崎市廃棄物減量等推進員（ごみ減らし隊）制度スタート！ 12/1～

11月9日・10日、市役所において「ごみ減らし隊(廃棄物減量等推進員)」制度の説明会が行われました。

「ごみ減らし隊」とは、市民と行政が連携・協力しながら、ごみの排出抑制、再生利用などを推進していくための協働体制を構築する仕組みとして制度化したものです。

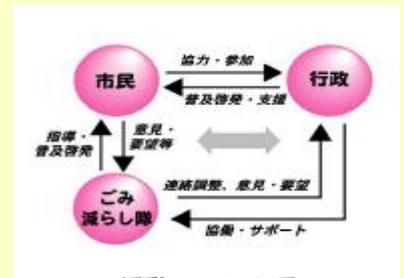
当日は、各地区・自治会などから推薦された198人の方に委嘱状が交付されたほか、「ごみ減らし隊」制度の概要や龍ヶ崎市のごみの現状、ごみ・資源物の出し方の注意点など、スライドを交えながら説明が行われました。任期は2年間で、平成21年3月31日までとなっています。

(主な活動内容)

- ① ごみ集積所・資源物回収ステーションの巡回及び出し方、分別方法などの適正排出指導
- ② 地域におけるごみ減量やリサイクル促進のための啓発活動
- ③ 市の研修会やイベントなどへの参加
- ④ ごみに関する意見や要望の取りまとめ
- ⑤ 行政と地域住民の連絡調整など



委嘱状交付の様子



活動のイメージ図



「ごみ減らし隊研修会」を開催(H20.2.22・23)

2月22・23日に清掃工場「クリーンプラザ・龍」を会場に、「ごみ減らし隊研修会」を開催しました。2日間で総勢118人の方が研修会に参加し、清掃工場の施設見学やごみに関する研修を行いました。質疑応答では、たくさんの方からごみの分別や出し方の質問が出され、ごみ処理の現状やごみ・資源物の出し方や分別方法などについて理解を深めました。また、地域内の活動状況に関する活発な意見交換も行われました。



ごみに関する研修



施設見学(ペットボトルの選別)

「ごみ減らし隊」の活動を取材

5月7日、「ごみ減らし隊」の活動状況等について、常陽新聞社から取材の申込がありました。

取材日(9日)当日は、佐貫台地区で活動している山本勝代さんに協力をお願いし、ごみ減らし隊としての活動のほか、山本さんご自身の取組など、多くの質問に答えていました。

「リサイクルの分別は徹底されてきましたが、燃やすごみの中には、まだ、たくさんの資源物(紙類)が含まれています。今後は、この点を中心に住民の方に啓発していきたい」と山本さんは話していました。



当日の様子

ごみ減量に関する提案・情報の提供 にご協力ください

ごみの減量化、資源化を推進するための提案や、すでに取り組んでいる具体例、他地区で参考になる取組等がありましたら、指定の様式に記入し、環境対策課に提出してください。

6月1日(日)は「市内一斉清掃」です

龍ヶ崎市では、6月の環境月間に、環境保全の重要性を認識し、行動の契機とするため、「市内一斉清掃」を実施します。